

次のような避難は**危険**です

## ●単独行動

一人で避難しようとする、万一の事故のときに助けてくれる人がいない場合もあります。複数で避難するようにしましょう。



## ●勝手な行動

避難のときは警察・消防・防災関係者の指示に従って行動してください。独断での行動は大変危険です。避難所においても係員の指示に従いましょう。



## ●車での避難は控えて

車での避難は交通渋滞をまねき、緊急車両の通行の妨げになります。また、次のような危険性もあります。

- ・浸水するとエンジンが動かなくなる。
- ・水に簡単に浮いて流される。
- ・水圧でドアが開かなくなり車内に閉じ込められる。

特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。






はんらんりゅう すいしん りゅうそく ひなん

## 氾濫流の水深・流速と避難のしやすさ

飛騨川は勾配が急なため、氾濫した水はわずかな水深でも非常に速く流れます。氾濫後の避難は非常に危険なため、早めの避難がとても大切です。

また流れの速さは、同じくらいの水深でも場所によって大きく違います。水深の深い場所より浅い場所の方が速い場合もあるので注意しましょう。

流れの速さ (図面の記号)	浸水後の避難の危険性と目安
0.5m/秒以下 	水深が腰以上 (1.0m以上) になると流される危険性が高まります。
0.5m/秒～1.5m/秒 	水深がひざ以上 (0.5m以上) になると流される危険性が高まります。
1.5m/秒以上 	どんなに浅くても流される可能性があるため避難は危険です。

※国道41号花池地区付近では、水深50cm程度の場所でも2m/秒くらいの速さで流れます。50cm未満の水深であっても大変危険です。